

ブラスト作業の ホコリ・騒音・コストの 問題を**大幅に改善**！



- 粉塵が全く立たない！
- 研削材の使用量を30～60%削減
(1mm以下の研削材使用時)
- 1分間の放出水量は、わずか100～200cc
(0.4mm以下の研削材使用の場合)
- 養生が非常に簡単(集塵機不要)
- 雨の日でも問題なし(エアードライヤー不要)
- 研削材費、産廃処理費、養生費、消耗品費など
コスト削減可能！



船舶の厚い塗膜除去



フジツボの除去



機械のサビ落とし

モイスチャー

湿った研削材がブラストの常識を変える

「モイスチャーブラスト」

湿式ブラストではない、バキュームブラストでもない、超高圧水でもない
全く新しい研削工法 『モイスチャーブラスト』

1. ホコリ問題を解決



湿った研削材を投射するため、削った塗料や錆、壊れた研削材がホコリにならない。

研削材の水は対象物に移り、飛散した研削材は乾いた状態である。



1分間に放出する水量は、わずか100~200cc（0.4mm以下の研削材を使用時）。流れるような水は出ません。珪砂もホコリの問題を気にせずに、使用可能。

2. 養生簡単 高い安全性



1mm以下の研削材を使用することで、研削材の飛散が少なく、簡単な養生でブラスト可能。集塵機は不要。

研削材が湿って重量が増えているので、乾式より小さな粒度で同等の研削力を実現。母材に熱を加えない。



ランス（長い棒）を使用することで、研削材が保護メガネに当たりにくく、安全性が高い。

周りから見ると、水で洗っているように見える。白く見えるのは水蒸気で、ブラスト作業時にホコリが舞い上がらないので、視界が良好。

3. 作業効率が高く、低コスト



楕円形に投射できるフラットノズルが使用できるため、広い面積をムラなく研削することが得意。

研削材の使用量が乾式より圧倒的に少なく、その結果、産廃の量も減り、コストの削減が可能。



弊社は、海外の特許製品であるモイスチャーブラストを日本で一番使用しているため、施工方法やメンテナンスの様々な提案が出来ます。標準状態より作業効率を良くする配管構造を考案し、特許申請済。様々な場所で、既存のブラスト工法からモイスチャーブラストに変えていただき、好評を得ています。

販売・リース・施工についての問い合わせは 084-972-2109（吉岡まで）

株式会社 吉岡システム

広島県福山市駅家町法成寺2149-1

TEL 084-972-2109 FAX 084-972-5996

e-mail info@yoshioka-system.com

詳しくは

吉岡システム

検索

